

トムス レクサスGSF リヤバンパーディフューザー

このたびは、トムス リヤバンパーディフューザー（以下リヤディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

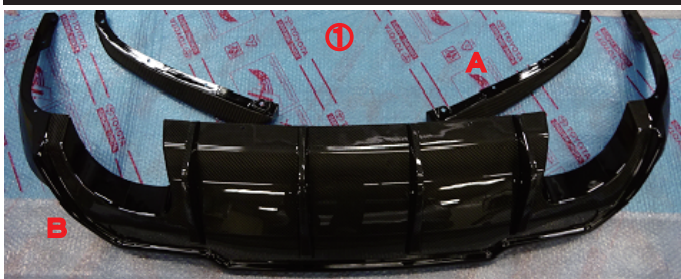
適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2015年7月現在）

適応車種
レクサス GSF 平成27年11月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. スポイラー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. スポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
リヤアンダースポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
5. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
（詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事）
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド（細目以上）で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
6. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
7. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
8. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
9. スポイラー装着により、標準バンパーより全長が約28mm長くなり、地上高約39mm低くなります。
10. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



- ①リヤバンパーディフューザーAx1SET、Bx1 ②パックプライマーx1 ③ボルト（M6x16）x16 ④M6ナットx16
⑤ブラケットx2 ⑥M6ワッシャーx2

取付手順



1.2.

1. 純正リヤバンパカバーを整備書を参考に
に取り外す。
(配線の切断, 損傷に注意する。)

2. 取り外した純正リヤバンパカバーか
らリヤバンパエクステンションSUB A
SSY CTRを取り外す (再使用しない)



3. ①リヤディフューザーBを純正
リヤバンパへ③ボルト、④ナットを使用し
組み付ける。(左図参照。片側も同様に作業する。)

※⑥ワッシャーを使用する。(片側も同様)



⑤ Bracket 取り付け位置

4. ③ボルト、④ナットを使用し⑤ブラケットを
①リヤディフューザーBへ取り付ける

5. ①リヤディフューザーBの下面に①リヤ
ディフューザーAを③ボルト、④ナットを
使用して組み付ける (左図参照)



③ボルト、④ナット 取付位置



①リヤディフューザーA 装着後画像



マスキングテープ

6. ①リヤディフューザーA, Bを仮付けした純正リヤバンパーを車両へ取り付ける。

7. 左図を参考に①リヤディフューザーBの両面テープ貼り付け位置を確認し、マスキングテープでマーキングをする。

8. マーキングを終えたら純正リヤバンパーを取り外す。



プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

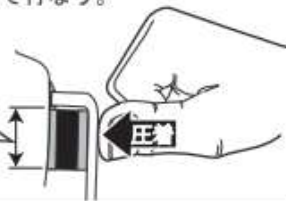


塗布範囲は、リヤディフューザー端末からのはみだしがないように注意して行う。



両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度【49N(5kgf/cm²)】で行なう。

両面テープ貼り部全体をまんべんなく圧着する。



両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。

10. ①リヤディフューザーBの両面テープ離形紙を50mm程剥がし、表面に折り返しマスキングテープで貼り付けつける。

11. ①リヤディフューザーA, Bと純正リヤバンパーとのボルト、ナット類を本締めをした後に純正リヤバンパーを車両に装着をする。
①リヤディフューザーBの両面テープ貼り付け位置、両面テープとバンパーとのあたり具合を確認し、不具合がなければ離形紙を車両中央から、引き抜き圧着をする。

12. ①リヤディフューザーのブラケットを純正クリップを使用し車両アンダーカバーへ取り付ける。

13. 各部位の閉め忘れが無いか再度確認をする。

